

B型肝炎

◆ B型肝炎ウイルスとは

B型肝炎ウイルスは直径42ナノメートルのサイズです。電子顕微鏡でないと見えませんが、表面には、前述したHBs抗原というタンパク質で形作られた殻があります。そして、HBs抗原の殻の中には、HBc抗原で作られた殻がもう一つあります。さらにその中に、B型肝炎ウイルス(HBV)が隠されているのです。B型肝炎ウイルスは、DNAでできているウイルスのため、HBV DNAと表記されます。

◆ どのように感染するのか

B型肝炎ウイルスは、血液中にウイルスがいる人からほかの人へ感染します(図5)。血液や体液(唾液、精液、膣分泌液など)を介して感染していきませんが、乳児と成人の場合では異なります。

乳児期の場合、主に出産のときや0歳児の時期に、お母さんから感染します。また、口移しなどで、お父さんの唾液から乳児に感染する場合があります。お父さん、お母さんから子供へ感染するということが垂直感染といえます。

B型肝炎ウイルス (HBV)

血液、体液(唾液、精液、膣分泌液など)を介して感染

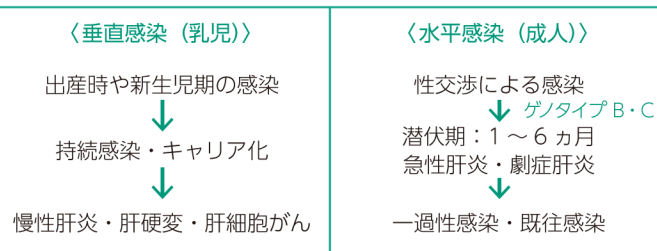


図5 B型肝炎ウイルスの感染